「これは、わたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ」 マタイ３：１７

皆さんが何をしていたとしても天のお父様は興味があります。なぜなら、あなたの存在が天の父にとって喜びなのだからです。しかしながら私達は自分の存在をどのように扱っていますか？自分の価値というものがわからなくなってしまうのです。「自分の行い＋他人の評価＝自分の価値」そのほうが、しっくりくるのではないでしょうか？ただ「愛されているよ」と言われても。しっくりこないのではないでしょうか？他人の良い評価によってわたしには価値があると思ったりするのは世の中の価値観の中では当然のことです。しかし今日、私たちは知らなければならないのです。たとえあなたの行いがなかったとしても天のお父様はあなたのことを愛しているという事なのです。何にもできなかったとしてもあなたの存在が喜びでしかないのです。しかし私達は時にその愛を勝ち取ろうとします。それが教会の中では奉仕だったり、、、、、もっとすればもっと愛される、、、もっと祝福される、、、、と思うところがあるかもしれない。しかし私達は「愛される為に頑張るのではない」のです。「愛されたから頑張っていく」のです。「認められるために頑張るのではない」のです。「もうすでに認められているから頑張る」のです。そして、ベストを尽くして歩んでいけるのです。

～それからすぐイエスは弟子たちを強いて舟に乗りこませて自分より先に向こう岸へ行かせ、その間に群衆を帰してしまわれた。マタイ１４：２２～

私たちは「イエス様一緒にいるのかな？」って思うときはないでしょうか？「祈っても何で答えてくれないのですか？」って思う時ありませんか？「信じたいけど離れているようにしか感じられない」「見えない、わからない、御声が聞こえない」っていう時あると思います。私たちはイエス様との関係を育んで生きているわけです。孤独で寂しさを感じてしまう時もあると思います。しかしイエス様はそのシーズンでさえもその御手の中におさめてあなたと豊かな関係を育んでおられます。

～しかし舟は陸から何キロメートルも離れていたが風が向かい風なので波に悩まされていた。マタイ１４：２４～

まさに人生の様な瞬間です。私達の人生には沢山の思いもよらない事が起こります。悩みます。

～すると夜中の三時ごろイエスは湖の上を歩いて彼らのところに行かれた。弟子たちはイエスが湖の上を歩いておられるのを見て「あれは幽霊だ」と言っておびえてしまい、恐ろしさのあまり叫び声をあげた。マタイ１４：２５、２６～

私達もイエス様の存在が幽霊のように実態のないものに感じてしまう時はないでしょうか？そのような時にもイエス様はすぐに私達にも御声をかけて下さるお方です。

～しかしイエスはすぐに彼らにはなしかけ、「しっかりしなさい、わたしだ。恐れることはない。」と言われた。～

イエス様は求める私たちにすぐに話しかけて下さるお方です。天のお父様の愛がわかるように体現してくださった、それがイエス様という存在です。だからイエス様の弟子たちに対する態度、イエス様の皆さんに対する態度は天のお父様の態度と一緒なのです。主は必ず求める私たちに答えて下さるおかたです。

～するとペテロが答えていった。「主よ。もしあなたでしたら、私に水の上を歩いてここまで来い」とお命じになってください。マタイ１４：２８～

少なくともペテロはイエス様が語る言葉が権威を帯びていて、それが真実であり力がありそして愛が溢れているという事を体験的に知っていたのです。すると、イエスは「来なさい」と言われた。ここにイエス様の凄さがあるのです。皆さん祈るときにみなさんの願いをそのまま打ち明けてよいのです。こんな祈り信仰的じゃないのでは、御心がわからないから。でも、イエス様ってそんな懐の狭いお方じゃないのです。そして祈りは具体的なほうが良いのです。私たちは具体的じゃない祈りをしたがります。実は具体的に祈らないときは結構自信がないのです。恐れている、具体的に言うと違うことが起こったら嫌だな、とか。しかし、具体的に祈る時に信仰は試されるのです。そして、本気で信じたら、本気で具体的にアクションを踏み出して行かなければなりません。信じたら終わりではないのです。その為の備えをしていく必要があるのです。

～そこでペテロは舟から出て水の上を歩いてイエスのほうに行った。マタイ１４：２９～

一人一人に語られている信仰のチャレンジがあると思います。ぜひ従ってみてください。従って一歩踏み出す時にイエス様の力を体験していくことがあるでしょう。イエス様はその一歩を決してないがしろにしません。あなたの人生を通して想像をはるかに超えた御業を現してくださいます。そしてその体験が今後の奇跡の歩みを力づけてくださいます。

～ところが風を見てこわくなり、沈みかけたので叫びだし「主よ助けて下さい」といった。マタイ１４：３０～

これが、人間なんです。さっきまでの確信、言葉にできないくらいの思い、それが風を見た瞬間になんとあっけなく吹き飛んでしまうか。人間は本当に弱いのです。そんな時「主よ。助けて下さい」と叫び、また、すぐに。

～そこでイエスはすぐに手をのばして彼をつかんで言われた。「信仰の薄い人だな、なぜ疑うのか。」マタイ１４：３１～

イエス様は責めなかったというか、失格にしなかったのです。あんな奇跡も見せて、水の上も歩かせたのにすぐに疑ったペテロ。しかしイエス様はペテロから目を離さなかった。皆さん、手をのばしたのは私達ではないのです。イエス様のほうなのです。この先ペテロが裏切るのも全てわかっているのです。初対面で会った時から「私についてきなさい」と言ったのです。あなたの不誠実さえも私のあなたへの愛を変えることはできない。あなたの不信仰さえも私のあなたを信じている心を変えることはできない。あなたを愛している。あなたを選んだのです。あなたは私の弟子なのです。私はあなたを通して栄光をあらわしたいのです。

～そしてふたりが舟に乗移ると風がやんだ。そこで舟の中にいた者たちはイエスを拝んで「確かにあなたは神の子です」と言った。マタイ１４：３２、３３～

大自然さえもイエス様の権威の下にあります。イエス様にできないことは何もないのです。

そして、たとえ何ができても、できなくても、天のお父様は私たちの事を愛してくれて、認めてくれているのです。

まとめ

天のお父様は、私達がどのような人間であっても、どのような状況の時でも私達を見捨てずそして愛してくださっています。

～あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは自分自身から出たことではなく神からの賜物です。行いによるのではありません。だれも誇ることのないためです。私達は、神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は私達が良い行いに歩むようにその良い行いをもあらかじめ備えて下さったのです。エペソ２：８～１０～

親が我が子を愛するように、神様のあなたへの愛はそれにも勝る程の無条件の愛なのです。

（8月27日）